

特別会計

特定の収入があり、目的ごとに使い道をはっきりさせるための会計です。



会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険費	88億7,405万円	85億292万円	3億7,113万円
公共用地等造成費	985万円	1億3,429万円	△1億2,444万円
公設卸売市場費	3,198万円	3,135万円	63万円
高等学校費	5億8,610万円	5億8,546万円	64万円
企業用地造成費	2,438万円	2,425万円	13万円
農業集落排水事業費	1億6,965万円	1億6,903万円	62万円
介護保険費	85億528万円	80億4,732万円	4億5,796万円
後期高齢者医療費	13億9,767万円	13億9,628万円	139万円
合計	195億9,896万円	188億9,090万円	7億806万円

企業会計

民間企業と同じように、料金などの収益で運営する会計です。

各企業会計	収入	支出	差引	
病院事業	収益的	128億1,602万円	125億6,603万円	2億4,999万円
	資本的	4億9,402万円	11億4,036万円	△6億4,634万円
水道事業	収益的	17億2万円	15億7,659万円	1億2,343万円
	資本的	5億3,000万円	13億6,377万円	△8億3,377万円
下水道事業	収益的	25億7,776万円	23億880万円	2億6,896万円
	資本的	9億4,642万円	15億5,470万円	△6億828万円

収益的 病院診療報酬、水道料金、下水道使用料などの収入と人件費や維持管理費など事業の運営に必要な支出
資本的 企業債など財源となる収入と、将来の営業活動に備えて行う施設の整備などの支出

【病院事業】

- 市立総合病院
1日平均 入院 297人 外来 795人
- 市立栗沢病院
1日平均 入院 63人 外来 45人

【水道事業】

給水戸数 43,282戸
給水人口 78,796人
総配水量 9,274,526㎡
1日平均配水量 25,410㎡

【下水道事業】

処理区域面積 2,364ha
普及率 87.5%
水洗化率 99.1%
処理水量 10,560,528㎡



市税の負担状況

金額	8,485,933,502円
1人当たり	107,612円
1世帯当たり	204,771円

令和3年3月31日現在
人口 78,857人
世帯数 41,441世帯

財産

市有財産の状況(令和2年度末)

建物	539,145㎡
土地	28,603,528㎡
山林	17,061,897㎡
機械器具(車両)	223台
基金	
土地	495,530㎡
現金	150億8,817万円
有価証券	4,572万円
出資による権利	4億3,516万円

借金

市債の残高(令和2年度末)

各会計	現在高
一般会計	626億7,152万円
特別会計	2億8,683万円
公共用地等造成費	1,511万円
高等学校費	6,413万円
農業集落排水事業費	2億759万円
合計	629億5,835万円

いわみざわの家計簿



問合先 財政課予算グループ
☎ 35-4842

市は、4月から翌年3月までの1年間を一区切りにした会計年度ごとに、皆さんが納めた税金などの入ってくるお金(歳入)と、それをどのように使うか(歳出)を決める予算を組み立て、議会の議決を得てさまざまな事業を行っています。そして、年度の最後に歳入と歳出、預金や借金の状況を明らかにする決算を行い、議会の承認を受けています。今月号は、一般会計、特別会計、企業会計の令和2年度の決算の内容と令和3年度の予算の執行状況をお知らせします。

令和2年度 決算

一般会計

福祉事業や道路の整備など、市の基本的な事業の会計です。

歳入 599億7,081万円

国庫支出金 173億5,938万円 使い道を特定された国からの補助金など	29.0%
前年度比 特別定額給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金などにより、102億9,687万円増	
地方交付税 150億6,278万円 国(国税など)からの交付金	25.1%
市税 84億8,593万円 市民税、固定資産税など	14.1%
市債 64億7,440万円 長期的な借入金	10.8%
前年度比 市役所新庁舎や栗沢市民センターの建設などにより、15億9,160万円増	
道支出金 38億4,605万円 使い道を特定された北海道からの補助金など	6.4%
諸収入 29億3,399万円 貸付金の償還金など	4.9%
その他 58億828万円 各種交付金、保育料や学校給食費、市営住宅の家賃など	9.7%

歳出 598億437万円

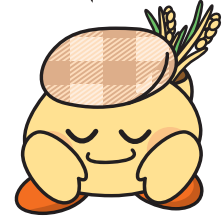
総務費 170億7,980万円 住民票の発行などの一般的な事務	28.6%
前年度比 特別定額給付金事業や小規模事業者等経営サポート給付金事業などの実施により、112億3,059万円増	
民生費 144億6,511万円 児童・高齢者・障がい者福祉、生活保護など	24.2%
土木費 75億6,099万円 道路・公園・市営住宅の整備、除排雪など	12.6%
前年度比 除排雪事業費などの増加により、18億2,582万円増	
公債費 53億5,403万円 借入金の元金と利子の返済	8.9%
教育費 44億790万円 小・中学校教育、生涯学習など	7.4%
衛生費 33億8,520万円 ごみ処理、健康診断など	5.7%
商工費 24億9,819万円 商工業の発展、観光の振興など	4.2%
農林水産業費 22億7,106万円 農業・林業・畜産の振興など	3.8%
消防費 12億2,376万円 消防署などの運営	2.0%
その他 15億5,833万円 議会、公社への貸付など	2.6%

収入と支出の差引額 1億6,644万円 (財政調整基金へ積み立て 6,860万円、令和3年度へ繰り越し 9,784万円)

健全化判断比率など

自治体の財政状況を示す指標である健全化判断基準は、いずれの指標も基準を下回っており良好な水準です。これらの数字を上回った場合は、財政再建が必要となります。

市の借金である市債残高は増加傾向にありますが、交付税算入のある「良質な地方債」を中心に借り入れるなど、健全な財政運営に努めています



健全化判断比率			
指標名	岩見沢市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計等の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	12.14%	20%
連結実質赤字比率 一般会計のほか、特別会計、企業会計すべての会計の赤字を市税などの財政規模と比較する割合	黒字	17.14%	30%
実質公債費比率 財政規模に対する借入金の返済額およびこれに準じる額の割合	8.4%	25%	35%
将来負担比率 一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合	70.7%	350%	

資金不足比率		
指標名	会計名と割合	経営健全化基準
資金不足比率 国民健康保険費、介護保険費、後期高齢者医療費を除く特別会計と企業会計の資金不足を料金収入の規模と比較する割合	資金不足が生じている会計はありません	20%

令和3年度 予算の執行状況 令和3年4月1日～9月30日

一般会計・特別会計

市債の現在高

区分	予算額	収入済額	収入率 (%)	執行済額	執行率 (%)	
一般会計の合計	556億5,049万円	209億9,121万円	37.7	226億6,028万円	40.7	
特別会計	国民健康保険費	90億7,186万円	40億7,861万円	45.0	33億4,816万円	36.9
	公共用地等造成費	1億3,184万円	355万円	2.7	1億2,675万円	96.1
	公設卸売市場費	3,877万円	2,597万円	67.0	2,557万円	66.0
	高等学校費	5億8,266万円	2億6,460万円	45.4	2億6,448万円	45.4
	企業用地造成費	1,209万円	2,615万円	216.2	41万円	3.4
	農業集落排水事業費	2億8,198万円	1,366万円	4.8	9,684万円	34.3
	介護保険費	93億4,533万円	39億3,217万円	42.1	34億8,611万円	37.3
	後期高齢者医療費	14億2,558万円	4億1,393万円	29.0	3億7,932万円	26.6
	合計	208億9,011万円	87億5,864万円	41.9	77億2,764万円	37.0

一般会計	599億 755万円
特別会計	2億 7,271万円

企業会計

病院事業会計		
収益的	収入	58億 1,519万円
	支出	57億 3,373万円
資本的	収入	80万円
	支出	4億 3,777万円

水道事業会計		
収益的	収入	7億 8,063万円
	支出	4億 9,814万円
資本的	収入	0円
	支出	4億 71万円

下水道事業会計		
収益的	収入	9億 8,786万円
	支出	3億 9,520万円
資本的	収入	7,865万円
	支出	4億 4,810万円